

2021年4月9日

各位

会社名 株式会社安川電機  
 代表者名 代表取締役社長 小笠原 浩  
 (コード：6506、東証第1部、福証)  
 問合せ先 執行役員 広報・IR部長 林田 歩  
 (TEL.03-5402-4564)

## 中期経営計画「Challenge 25」の見直しについて

株式会社安川電機（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：小笠原 浩）は、中期経営計画「Challenge 25」（2019年度～2021年度）の最終年度を1年延長し、「Challenge 25 Plus」（2019年度～2022年度）として計画の見直しを行いましたので、お知らせいたします。

当社を取り巻く市場環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく変化しております。そのような中で、「2025年ビジョン」の達成に向け、ソリューションコンセプト“i<sup>3</sup>-Mechatronics\*<sup>1</sup>（アイキューブ・メカトロニクス）”によるビジネスモデルの変革、そして YDX\*<sup>2</sup>を通じたデジタル経営の実現を柱とした効率化と収益性拡大、さらには、持続可能な社会の実現に向けて掲げているサステナビリティ方針に基づいた活動を織り込み、中期経営計画「Challenge 25 Plus」として改め、より一層の企業価値の向上に努めてまいります。

\*1 i<sup>3</sup>-Mechatronics：新たな産業自動化革命の実現に対する安川のソリューションコンセプト

\*2 YDX：YASKAWA Digital Transformation（安川グループにおけるDX推進）

### 中期経営計画「Challenge 25 Plus」の概要

#### (1) 数値目標

収益性の向上を最重要目標として掲げ、営業利益率13%の実現を目指します。

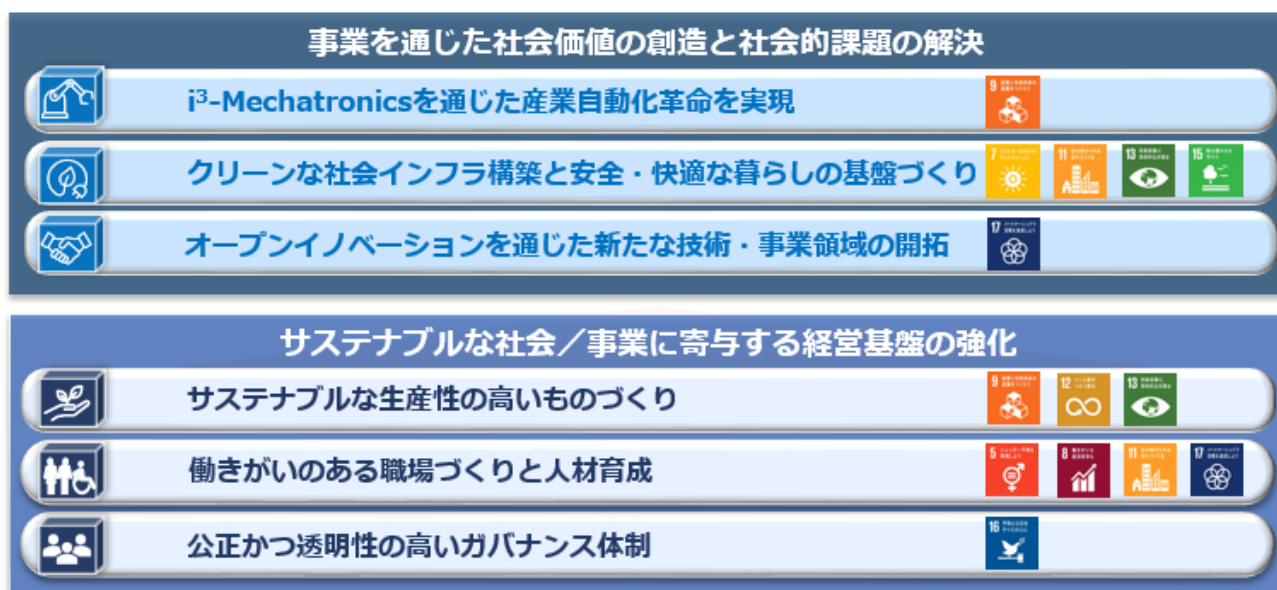
	2020年度 (実績)	⇒	2022年度 (目標)	(参考) 2021年度 (従来目標)
売上収益	3,897億円		4,700億円	5,400億円
営業利益 (営業利益率)	271億円 (7.0%)		610億円 (13.0%)	700億円 (13.0%)
ROE	8.0%		15.0% 以上	15.0% 以上
ROIC	7.0%		15.0% 以上	15.0% 以上
配当性向	33.1%		30.0% +α	30.0% +α

[参考] 2020年度実績為替レート 1米ドル=105.99円、1ユーロ=122.82円、1中国元=15.55円、1韓国ウォン=0.091円  
 2022年度想定為替レート 1米ドル=110.00円、1ユーロ=130.00円、1中国元=16.80円、1韓国ウォン=0.096円

## (2) サステナブルな経営の推進

当社は中期経営計画「Challenge 25」の見直しに先立ち、グループ経営理念をもとにサステナビリティ方針を策定しています。この方針のもと、サステナブルな社会の発展に寄与すべく、当社グループのサステナビリティ課題・目標（マテリアリティ）を明確にし、それらの解決に向けた取り組みを方策に展開しています。

### 安川グループのマテリアリティ



## (3) 基本方針・重点方策

サステナブルな社会の発展に寄与する事業の推進強化とYDXを通じた経営効率化により収益性改善を加速してまいります。

### 基本方針 1. i<sup>3</sup>-Mechatronics によるビジネスモデル変革

生・販・技の進化を加速し、事業横断の取り組みでお客様の経営課題解決に寄与

- ① i<sup>3</sup>-Mechatronics を実現する販売力の強化  
i<sup>3</sup>-Mechatronics を実現するソリューションの拡充を図り、お客様の付加価値を高める提案力を強化
- ② i<sup>3</sup>-Mechatronics を実現する技術／製品開発の強化  
“安川テクノロジーセンター”(21年3月稼働)における一貫した開発体制構築により、事業横断でグローバル開発を加速
- ③ i<sup>3</sup>-Mechatronics を実践する生産機能の強化  
“安川ソリューションファクトリ”のコンセプトを国内外に展開し、グローバルで生産効率化／最適化を実現
- ④ i<sup>3</sup>-Mechatronics の実践によるサービスの強化  
データを活用した予兆診断をベースとする新たなサービスの提供により、お客様の生産効率向上に貢献

## 基本方針 2. i<sup>3</sup>-Mechatronics を通じた成長市場での収益最大化

高い成長が見込まれる「ロボティクス」市場\*<sup>3</sup>でオープンイノベーションを活用し、事業拡大を加速

- ① 「3C\*<sup>4</sup>・ニューインフラ\*<sup>5</sup>」市場を中心とした中国・アジアでの攻略強化
- ② 「自動車」完成車／部品メーカーとの取り組み加速
- ③ 「半導体」製造装置市場での取り組み強化

\*3 ロボティクス市場：ロボットを含む自動化領域

\*4 3C：コンシューマー向け、デジタルコミュニケーション機器の略（Computer、Communication、Consumer Electronics の3語の頭文字から）

\*5 ニューインフラ：次世代通信規格「5G」や「新エネルギー車」、「AI」などを含む7つの分野を中心とした中国における産業のデジタル化

## 基本方針 3. サステナブルな社会構築に向けた新領域への展開

世界に誇るメカトロニクス技術で、サステナブルな社会の実現に貢献

- ① Energy Saving & Clean Power 業界トップレベルのパワー変換技術を活用した製品で、脱炭素社会の実現と未来を変える技術革新にチャレンジします。この取り組みを通じ、2025年度を目標に自社排出量の100倍のCO<sub>2</sub>削減に貢献します（CCE100\*<sup>6</sup>）。
- ② Food & Agri 業界トップレベルの自動化技術を食品生産工程や農業の領域へ展開し、食の安定供給に貢献します。
- ③ Humatronics\*<sup>7</sup> 医療・福祉領域における自動化需要に対応したビジネスモデル確立を通じ、人々の健康と生活を支援します。

\*6 CCE100（Contribution to Cool Earth 100）：2025年度に当社製品によるCO<sub>2</sub>削減貢献量を当社グループによるCO<sub>2</sub>排出量の100倍以上とする目標

\*7 Humatronics/ヒューマトロニクス：人間（Human）とメカトロニクス（Mechatronics）を掛け合わせた造語

## （4）経営基盤の強化

「Challenge 25 Plus」を通じてデジタル経営と品質経営の強化を図り、コロナ禍で激変する市場変化に強い経営体質の継続・進化を図ります。そして、多様なステークホルダーの皆さまからの期待に応えるサステナブルな経営とガバナンスの強化を実践し、働きがいのある職場づくりと人材の育成に努めます。

- ① デジタル経営と品質経営を通じた経営効率の向上  
経営データの一元化と業務プロセスの標準化により、グローバルでグループ一体運営の強化と経営判断の迅速化を実現します。
- ② YDX を通じた経営効率の改善  
「データの見える化」と「働きがいのある職場づくり」を推進し、コロナ禍で加速した市場変化に強い経営体質の進化を図ります。
  - ・経営管理の高度化 - 経営データの見える化による付加価値向上
  - ・生産性の向上 - 業務データの見える化による効率化
  - ・働き方改革 - フレキシブルで多様な働き方の実現
  - ・意識改革 - 従業員の働きがい向上

### ③ サステナブルな社会／事業に寄与する経営基盤の強化

多様なステークホルダーの皆さまからの期待に応えるサステナブルな経営を実践し、事業活動、企業活動、対話と協創を通じ、社会価値の創造と社会的課題の解決に努めます。



※「2025年ビジョン」「サステナビリティ方針」「Challenge 25 Plus」の詳細は、以下のURLからご覧いただくことができます。

・ 2025年ビジョン：

[https://www.yaskawa.co.jp/wp-content/uploads/2019/06/Vision2025\\_Revision.pdf](https://www.yaskawa.co.jp/wp-content/uploads/2019/06/Vision2025_Revision.pdf)

・ サステナビリティ方針：

<https://www.yaskawa.co.jp/newsrelease/news/140481>

・ Challenge 25 Plus：

[https://www.yaskawa.co.jp/wp-content/uploads/2021/04/Challenge25\\_Plus.pdf](https://www.yaskawa.co.jp/wp-content/uploads/2021/04/Challenge25_Plus.pdf)

以上